



もしも、これが あなただったら…



もしもに備えていますか？



高額な賠償金の請求!?



自転車事故はおよそ8分※に1件ものペースで発生しているんじゃ。過去の自転車事故には、事故を起こした加害者(小学生)の母親が9,500万円もの賠償金を支払うよう命じられた事例もあるんじゃ。

他人事ではないわね…
だから、新潟県では条例で自転車保険の加入を義務づけているのね。



新潟県では、条例で自転車保険への加入が義務化されています

自転車の利用に係る交通事故の防止及び被害者の保護を図り、県民が安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的として、「新潟県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定しました。(令和4年4月1日制定)

POINT 1

自身が加害者となった場合の備えがあるか？

自転車保険とは、自転車の利用によって他人の生命または身体を害した場合における損害を補填するための保険または共済(自転車損害賠償責任保険等)を指します。

POINT 2

自転車に乗る全員が補償されているか？

加入義務づけの対象となるのは「自転車利用者」「事業活動に自転車を利用する事業者」「自転車貸付事業者」「子どもが自転車を利用する保護者」となります。



自転車保険選びのポイント 詳しくは裏面で! ➡



POINT 1

個人賠償責任補償は1億円を超えるものがあると安心

過去、自転車でぶつかった相手が意識不明となり**約9,500万円の賠償責任を負うことになる**事例がありました。高額な賠償を求められる事故は、決して他人事ではありません。個人賠償責任補償は、1億円を超えるものを選ぶと安心です。

POINT 2

自転車事故以外の交通事故の補償もあると安心

自転車に乗っていないときに交通事故に遭ってしまった場合でも**ご自身のケガを補償する保険**もあります。相手への賠償だけでなく、ケガへの備えもあると安心です。補償されるのは入院・通院のどちらかなども、チェックしておきましょう。

POINT 3

示談代行サービスがついたものだと安心

賠償事故を起こし加害者となってしまった場合に、**お客さまに代わって、保険会社が相手側と解決に向けて交渉するサービス**です。示談交渉は難しいだけでなく、心理的な負担にもなります。示談代行サービスがついているものだと安心です。

POINT 4

自転車ロードサービスがあると安心

自転車が走行不能になったとき、**指定の場所まで自転車を運んでくれる「自転車ロードサービス」**がついている保険もあります。遠くまでサイクリングされる方や、重くて押し歩くのが難しい電動アシスト付き自転車の方にはおすすめです。

POINT 5

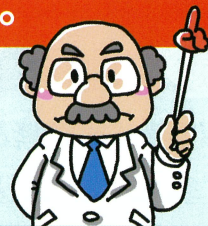
個人で乗るか、家族で乗るか

自転車に乗る本人のみを補償する**タイプの保険**もあれば、**本人だけでなく家族全員を補償するタイプの保険**もあります。自転車に乗る家族の人数が多い場合は、保険料がお得になることも。



自転車保険の月々の保険料はコーヒー1杯分程度から。

- 手ごろな保険料で大きな安心が得られますので、しっかり自分に合ったものを選びましょう！
- 自動車保険や火災保険、傷害保険等の中には、自転車事故に対応する特約を設けているものもあります。加入している各種保険の内容を一度確認してみましょう。



新潟県はau損害保険株式会社と「自転車の交通安全対策推進のための連携・協力に関する協定」を締結しています



au 損保

